

昭和34年夏季年会(東京)

# 講演予稿集

日本天文学会

## 日本天文学会 1959 年春季年会

### プ ロ グ ラ ム

- ◇日 時 昭和 34 年 5 月 14 日 (木), 15 日 (金), 16 日 (土)  
◇場 所 東京大学理学部 2 号館大講堂

	午 前 (9 時より)	昼	午 後 (1 時より)	夜
14 日 (木)	研 究 発 表	評議員会	研 究 発 表	シンポジウム I
15 日 (金)	研究発表, 総会	理事会	研究発表, シン ポジウム II	懇親会 (5 時半より) (山上会議所の予定)
16 日 (土)	研 究 発 表		映画, 特別講演, シンポジウム III	

講演予稿集について: 特別会員には 1 部ずつ無料で配布しますが, その他の方  
および特別会員で 2 部以上希望される方は 1 部につき実費 40 円, 送料 8 円  
をお送り下さい。年会講演の当日会場でもおわけします。

### ◇ シンポジウム

- I { 弓 滋; 観測緯度値の意義  
服部 忠彦; 国際緯度観測事業の近況——報告書第 IX 巻を中心として
- II 進 士 晃; ケフェウス型変光星の分布及び運動
- III 海野和三郎; 太陽大気の運動

### ◇映 画 (16 日午後)

スワロフ島における日食観測

### ◇特 別 講 演 (16 日午後)

上野季夫; フランスの天文学

第 1 日 5 月 14 日 (木)

[午前] (9 時より)

- |   |    |
|---|----|
|   | 分  |
| 1. 角田忠一 (緯度観測所): 水沢の水晶時計の運行について……………                          | 10 |
| 2. 石井久, 角田忠一 ( // ): JJY 受信時刻とその精度の関係について…                    | 10 |
| 3. 弓 滋 ( // ): 緯度の日変化 (II) ……………                              | 10 |
| 4. 須川力 ( // ): 南半球における closing error と local z 項について…         | 10 |
| 5. 虎尾正久, 藤井 繁, 小林宏志, 深谷力之助 (東京天文台):<br>東京 PZT 星の位置改正について…………… | 5  |
| 6. 飯島重孝, 岡崎清市 ( // ): PZT 星の place 改訂と東京時の国際比較…               | 10 |
| 7. 飯島重孝 ( // ): 最近の観測からみた $\Delta T$ の予測値……………                | 10 |
| 8. 服部忠彦 (緯度観測所): 水沢 PZT 観測より求められた光行差常数 ……                     | 10 |
| 9. 高木重次 ( // ): 太陽湖と緯度変化の関係について……………                          | 10 |
| 10. 角田忠一 ( // ): 地球内部磁場変動の緯度変化に及ぼす影響……………                     | 10 |
| 11. 関口直甫 (東京天文台): 地球の core と mantle との結合について…                 | 7  |
| 12. 中野三郎, 安田春雄, 原 寿男 ( // ): 東京天文台子午環<br>観測について……………          | 8  |
| 13. 坪川家恒 (地理調査所): アストロラーベの型式について (III) ……                     | 10 |
| 14. 檀原 毅 ( // ): 等緯線掩蔽整約におよぼす月縁不整の影響……………                     | 7  |

[午後] (1 時より)

- |   |    |
|---|----|
| 15. 進士 晃 (水路部): 国際航空図による天文航法の精度……………  | 7  |
| 16. 堀 源一郎 (東大理): 木星第 9 衛星の運動 (VI) ……………   | 10 |
| 17. 古田清正 (京大理): 種子島金環日食報告 (第 2 報) —— 太陽と<br>月との相対位置……………                              | 7  |
| 18. 藤波重次, 古川麒一郎 ( // ): 種子島金環日食報告 (第 3 報) ——<br>月のプロファイルの検討……………                      | 10 |
| 19. 広瀬秀雄, 下保 茂, 富田弘一郎, 内田正男, 真鍋良之助 (東京天文台):<br>1958 年 4 月 19 日の金環日食の観測結果 (第 1 報)…………… | 7  |
| 20. 鈴木裕一 (水路部): スワロフ島皆既日食における連続写真……………  | 5  |
| 21. 徳弘 敦 ( // ): スワロフ島皆既日食における接触時について……………  | 5  |
| 22. 田鍋浩義 (東京天文台): 日食観測船おしよ丸船上における夜光観測…  | 7  |
| 23. 田鍋浩義, 等松隆夫 (東京天文台, 東大理): 日食時における<br>airglow 観測……………                               | 7  |
| 24. 古畑正秋, 等松隆夫 ( //, // ): 夜光酸素赤線と F2 層の関係……………                                       | 7  |
| 25. 大脇直明 (水路部): スワロフ島皆既日食におけるコロナの写真……………  | 5  |
| 26. 斎藤国治, 清水 実, 山下泰正 (東京天文台, 東大理):<br>スワロフ島皆既日食における太陽コロナの偏光写真観測……………                  | 10 |
| 27. 末元善三郎, 日江井栄二郎 (東京天文台): 斜入射法による<br>閃光スペクトル……………                                    | 10 |
| 28. //, // ( // ): 彩層の微細構造について……………   | 10 |
| 29. //, // ( // ): 閃光スペクトルで見られるコロナ輝線……………   | 7  |
| 30. 高橋 敷, 堀井政三 (生駒山太陽観測所): flare 発生の条件……………   | 10 |

31. 平山 淳 (東大理): リム・フレイヤーのスペクトル…………… 7  
 32. 牧田 貢, 森本雅樹 (東大理, 東京天文台): 太陽黒点の  
 光電分光測光 (III) …………… 7  
 33. 野附誠夫, 長沢進午 (東京天文台): 国際地球観測年中の太陽観測に  
 関する予備報告……………10  
 34. 齊藤園治, 田中幸明 ( // ): 太陽の極域白斑について (統報) …… 7  
 35. 齊藤園治 ( // ): 太陽コロナの赤道域流線について……………10

第 2 日 5 月 15 日 (金)

[午前] (9 時より)

36. 下田真弘 (東大理): 対流外層をもつ巨星のモデル (IV)  
 —Kippenhahn-Temesvary-Biermann モデルに対する批判— …… 7  
 37. 堀 源一郎 ( // ): 輻射圧を考慮した場合の断熱方程式の解について… 7  
 38. 海野和三郎, 堀 源一郎, 下田真弘, 牧田 貢 ( // ):  
 対流層理論について……………10  
 39. 内田寿一, 吉川省吾 (東北大): 10  $M_{\odot}$  星の内部構造 (統) …… 7  
 40. 一柳寿一, 須田和男 ( // ): 等温核と対流平衡の中間層をもつ  
 星のモデル (III) —等温縮退核をもつ星のモデル (統) ……10  
 41. 高瀬文志郎 (東大理): 散開星団の光度函数……………10  
 42. 大脇直明 (水路部): 球状星団における星の軌道と密度分布の変化…………10  
 43. 江本祐治 (大阪学芸大): 高銀緯における B 型星の分布について…………10  
 44. 清水 彊 (京大理): 局部静止座標系に対する恒星軌道……………10  
 45. 清水 彊, 高橋 清 (京大理, 和歌山大学芸): 20 pc 内の恒星の物理的性  
 質と恒星軌道との関係…………… 7  
 46. 高柳和智 (京大理): S 型星の運動について……………10  
 47. 石田蕙一 (東京天文台): 大マゼラン雲における星と星間物質の分布………… 5  
 48. 畑中武夫, 海野和三郎, 武部尚雄, 堀 源一郎 (東大理): 星間物質の  
 収縮過程……………10  
 49. 高柳和夫, 西村史朗 (埼玉大理, 東大理): 星間物質の冷却過程……………10

[午後] (1 時より)

50. 羽倉幸雄, 郷 鉄夫 (平磯電波観測所): 太陽の電磁波輻射・粒子輻射と  
 磁気嵐・電離層嵐 (I, II) ……………15  
 51. 甲斐敬造 (東京学芸大): マイクロ波バーストについて…………… 7  
 52. // ( // ): Type III バーストの励起について…………… 5  
 53. 高倉達雄 (東京天文台): 螺旋運動をしている中エネルギー電子からの  
 シンクロトロン輻射……………10  
 54. // ( // ): マイクロ波バーストのスペクトルと偏波……………10  
 55. 守山史生 ( // ): メートル波太陽電波の観測…………… 8  
 56. 鈴木重雅, 土屋 淳, 森本雅樹 ( // ): 200 メガサイクルにおける  
 太陽電波バーストの観測結果……………10  
 57. 柿沼隆清 (名大空電研): 太陽電波 S 成分の輻射源について……………10  
 58. 田中春夫, 柿沼隆清 ( // ): 9400 MC の干渉計について……………10  
 59. 土屋 淳 (東京天文台): 200 MC 帯における狭帯域スペクトル (II) …… 5  
 60. 河舘公昭 ( // ): アウトバーストに伴うコロナの高温度熱輻射…………… 7

61. 大木俊夫 (東北大理): 円柱状電流の安定性……………10  
 62. 柿沼正二 (京大理): solar radio transient 間の time interval について… 7  
 63. 下小田博一 (愛知学芸大): solar granulation の磁気的効果について ……10

第 3 日 5 月 16 日 (土)

[午前] (9時より)

64. 上条文夫 (東大理): 炭素星の低分数スペクトル (II) ……………10  
 65. 北村正利 (東京天文台): 大熊座 W 型近接連星の伴星のモデル……………10  
 66. 高橋千恵 ( // ): AH Vir の測光要素について …………… 5  
 67. 清水 彌, 今川文彦, 中井善寛, 高柳和智 (京大理): 花山天文台の  
 クック 12 吋屈折望遠鏡による三色光電測光観測 (予報) ……………10  
 68. 大沢清輝 (東京天文台), 高田 勝 (東大工): ヘリウムを含む  
 恒星大気モデル…………… 7  
 69. 上野季夫 (京大理): 有限な非均質大気における輻射の散乱について………… 7  
 70. 細川良正 (山形大文理): アルゴル系における反射効果……………10  
 71. 近藤雅之 (東大理): RS Oph のスペクトル (II) …………… 5  
 72. 川畑周作, 小暮智一, 神野光男 (京大理): P Cyg 星の Zanstra  
 温度について…………… 7  
 73. 神野光男 (京大理): P Cyg の大気における stratification について …… 7  
 74. 小暮智一 ( // ): Be 星の Balmer decrement について …………… 7  
 75. 大崎 徹 ( // ): HII 領域における dust の  $L\alpha$  放射場  
 およぼす影響について…………… 7  
 76. 海野和三郎, 市村喜八郎 (東大理): 太陽の large scale turbulence  
 について……………10  
 77. 宮本正太郎 (京大花山天文台): 月面の地質学的研究……………10  
 78. 岩田 稔, 足立 巖, 井原匡平 (大阪工業技術試験所, //,  
 奥村機械 KK): 天体望遠鏡用大型研磨機の試作 ……………10  
 79. 村山定男 (国立科学博物館): 岡部隕石について…………… 5  
 80. // ( // ): 南極地方の氷から採集された  
 流星塵について…………… 7